



な か ま

立山町立釜ヶ淵小学校

第1学年 学年だより

R 3 . 2 . 5

○冬を楽しむ！

去年は雪がほとんど降らない冬だったのに比べ、今年は雪がどっさり降っています。子供たちに雪について思っていることを聞いてみました。

家で雪かきをしていると、「自分で仕事をしたあとがつけられる」と話すM君。庭が広く、家の人が車を止めるのに少しでも力になりたいと思っているようです。M君は7歳。小さくても大人と同じように、仕事をしたという成就感を感じ、雪かきを楽しんでいるようです。たびたびお母さんの車の上に積もる雪をよけた話をしてくれます。家で大きななまくらを作って、中に入って遊んだというK君。お父さんが一緒になって作ってくださって、とてもうれしかったそうです。大量の雪が降ったからこそできる遊びです。屋根のつららをスキーのストックでお姉さんにとってもらったと話すTさん。大きなつららを集めて遊ぶのが楽しかったそうです。暖かくなると溶けて、つららを伝って水が落ちてくる様子も観察していました。

Hさんは、再開された集団登校で仲間の優しさに気付いています。天気がよく、放射冷却現象の日、雪道で転んでしまい、水筒が頭にぶつかり、痛かったそうです。周りの子供たちが口々に「大丈夫」と声をかけてくれたのがうれしかったと話していました。Fさんは、集団登校で歩くのが遅くなると、上級生が背中を押してくれて速く歩けたと話していました。

大人は、除雪に疲れ、つい通勤に時間がかかったなどと話すことが多いのですが、子供たちは大雪に学び、冬を楽しんでいます。冬来たりなば、春遠からじと言います。2月2日は節分でした。後一月、大自然に学び、冬を楽しむ気持ちで過ごしましょう。

グラウンドへいってきました。いろいろなものがこおっていました。いけのこおりもとれました。

(K・O)

ゆきの上はとてもかたかったです。足がずぼっと入らず、ゆきの上に立てました。

(S・H)

こおりの上であるきました。こおりの上をあるいたら、スケートになりました。

(A・T)

わたしは、こおりがすべるからにがてです。でも、Aちゃんが「だいじょうぶだよ」といってくれたのでやってみました。ゆっくりすすめば、あるけるようになりました。

(I・F)

かえるときに、こおりにひびが入って、ふん水みたいのができて、おもしろかったし、たのしかったです。

(T・K)

○楽しみな新入生体験学習会

2月19日に、来年度入学児の体験学習会を行います。10名の年長児と交流学習をします。学校の中を案内した後、子供たちが作ったおもちゃやカードを使い、おみせやさんごっこをする予定です。O君は、風車がよく回るように、みんなに紙コップの羽の折り方にコツがあるとみんなに教えています。試作品を扇風機の風に当てて、性能をチェックしています。年長さんが分かりやすいように、お店の看板は、ひらがなで書きました。2月10日(2限)の学習参観で、リハーサルをする予定です。ぜひ、お越しください。

本番では、年長児が、小学校での生活や学校の様子を知り、安心して入学できるように、お兄さんお姉さんとして、お世話をしてほしいと思います。



○家の仕事に挑戦!

ゆきかきをしたかったけれど、そとがまっくらになって、ひえてきたからできませんでした。だから、せんたくものたたみをしました。タオルはたためたけれど、パンツやくつしたは、むりでした。(T・M)

2月2日の生活科の時間に、Mさんが話すと、子供たちは次々に自分の取組を紹介し始めました。「わたしは、お母さんに、洋服のたたみ方を教えてもらった」とFさんは、学校に着てきたカーディガンをたたみ始めます。すると、私の家では、違うたたみ方だとHさん。几帳面なKさんとOさんも自分流のたたみ方を紹介し始めます。さながら「洋服たたみ方教室」です。そこに、Fさんがさらに「パンツもくつ下もたたむのは簡単だよ」と言うと、他の5人が、「簡単、できる。できる」と励まします。Mさんは、次は挑戦してみるかもしれませんね。

2学期後半から、1年生の自分たちにも、仕事を任せてもらえるようにがんばろうと話し合い、家でいろいろな仕事を経験させてもらっています。学校では、生活科の時間にお手伝い自慢が始まること多いのですが、なかなか自分の仕事となるまでにはならないようです。1月30日・31日の「タブレットにチャレンジ」では、ミッション(課題)に親子で挑戦していただきましてありがとうございました。2月10日(3限)の学習参観では挑戦した取組について話し合いをします。

